

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	94%	6%	0%	十分なスペースを確保している。 個別対応を考えると、もっと部屋数がほしい。
	2 職員の配置数は適切であるか	83%	17%	0%	加配も含め充足している。 増員となれば、よりきめ細やかな個別指導が期待できる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	94%	6%	0%	常に改善要望等を整理し、高額なものは市が対応してくれている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	委員会や自主ミーティング、サポート会議等で広く対応している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケート等の結果はお便りで公表。行政にも実績報告行う。改善要望等あれば、会議で検討し放置しない体制あり。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	76%	24%	0%	家族へはお便りにて公表。学校等関係機関向けのアンケート結果については、通知文書にて報告。併せて行政にも実績報告している。なお、今後はWEB上での公開も企画中。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	毎年度実施している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	内部研修、外部研修とも十分実施している。 広く多くの職員が参加できるように、計画段階から配慮している。

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	9	74%	26%	0%	発達段階に応じて課題を分析し作成している。ただし、経験の浅い職員については、アセスメントの取り方も含め、更なるステップアップが必要。
	10	44%	56%	0%	SM式をベースに取り組んでいる。研鑽が必要な職員については、児発管・管理者の支援のもと対応。今後は、Vineland適応行動尺度やWISC検査の導入を研究中。
	11	74%	21%	5%	サポート会議にて、必要な療育テーマやその手法、教材の工夫などを検討している。立案過程が見えていない職員に対し、今後は丁寧な説明を行いたい。
	12	95%	5%	0%	基本プログラムと個別課題などを組合せ、十分に取り組んでいる。
	13	82%	18%	0%	利用児童の特性も考慮し、バリエーション多くプログラムを設定している。長期休暇中は、職員人数に応じて対応を工夫している。
	14	100%	0%	0%	サポート会議やクラス担当者でのミーティングで内容を検討し工夫している。個別活動はクラス単位で行い、集団活動は異年齢での関わりの場面も設定。
	15	63%	37%	0%	遅番職員出勤後、専従職員と児発管が中心となり実践のためのミーティングを実施。サポート職員との打合せをもっと丁寧に行いたい。
	16	37%	63%	0%	職員間で自由な雰囲気で行っているが、勤務上、関係職員全員で共有する機会は難しいと感じている。ICT機器等を活用し、タイムラグなくスマートに共有できる方法を検討している。
	17	83%	11%	6%	サービス提供書を用いて、丁寧に対応している。
	18	89%	11%	0%	十分に対応している。
19	82%	18%	0%	十分に対応している。 中途入職者3名は、ガイドラインの読み込みが不足しており、「どちらともいえない」と回答。	

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	複数の学校機関と調整するため、複雑なところもあるが、ミスなく対応できるよう、申し送りや職員間の連携を重視し、対応している。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	84%	16%	0%	体制を整備しており、医療ケアが必要な児童の主治医からは、看護情報の提供を書面で徴している。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	89%	11%	0%	併設する未就学サービスから移行してくる児童が大半なため、あまり努力を必要としていない。ただし、就学先や相談機関、併用事業所とは十分な連携を図っている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	78%	22%	0%	十分に対応している。卒業後の移行先の職員とも、1月～3月にかけて移行支援の連携を図っている。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	78%	17%	6%	行政や関係機関との協力および合同企画でのセミナー開催や交流、研修受け入れなど、十分に対応している。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	28%	17%	56%	社会体験学習や宿泊訓練など、地域資源を活用しながら地域との交流の機会は設けているが、行動特性や障害特性からのストレスを考慮し、無理に交流の機会を設定することはしていない。また、居住地児童との交流は、学校の行事に設定してあるため、あえて重複しないよう配慮している。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	42%	53%	5%	自主的に参加できるものではなく、登米市の要請により参加となるため、平成29年度は参加していない。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	登降園時や定期面談、その他必要に応じて、児童の状況や分析した課題について伝えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	84%	16%	0%	実施している。ただし、就業状況や関心度などから参加率は低い傾向あり。

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89%	11%	0%	十分に対応している。 掲示物やお知らせ文書などでも分かりやすいようにレイアウトを工夫している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89%	5%	5%	随時積極的に対応している。 必要に応じ、話しやすい環境設定にも気を配っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	26%	68%	5%	就学時の保護者会は組織されていない。ただし、行事後などに保護者同士が自由に交流を深められるように「こじカフェ」などを開催した。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%	11%	0%	十分に対応している。苦情があった場合には、その内容や改善策などについても公表している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	89%	11%	0%	十分に対応している。
	35 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	遵守している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	95%	5%	0%	個別支援計画で配慮方法等を検討し、実践している。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	78%	17%	6%	十分に取り組んでいる。 独居高齢者交流会・他事業所交流会・ボランティア受入・併設施設交流
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	89%	11%	0%	十分に取り組んでいる。感染症に対しては、ミニ研修やスタッフ会議で確認を行い、家族向けにはお便りで周知を図っている。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	十分に取り組んでいる。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	95%	5%	0%	虐待防止、合理的配慮、権利擁護、コンプライアンスなど、高い意識のもと研修の機会を確保し実践している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	89%	11%	0%	身体拘束の事例がないため、「分からない」とする回答が2名いた。今後も身体拘束は行わないが、万が一の場合は、緊急時に限り保護者同意を得て対応する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	看護情報提供書や通院記録等を家族に提出してもらい、医師の指示のもと対応する体制を整備している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	リスクマネジメント委員会や法人会議などで検証・共有し、対応している。